

京都市中央卸売市場第一市場



京朱雀市場(きょうすざくいちば)



京果 京都青果合同(株)

京都市中央卸売市場第一市場の紹介

わが国で最初に開設された中央卸売市場

平成26年
87周年

開設認可 大正14年6月2日(1925年)

起工 大正14年12月24日

竣工 昭和2年4月20日(1927年)

業務開始 昭和2年12月11日

鮮魚部・塩干魚部・川魚部

昭和3年1月16日(1928年)

青果部



市場関係業者

<平成25年4月現在2013/4>

卸売業者	青果部	1社	京都青果合同(株)	
	水産物部	2社	(株)大水京都支社・大京魚類(株)	
仲卸業者	青果部	80業者	京都野菜卸売(協)	23業者
			京都中央市場青果卸売(協)	57業者
	水産物部	117業者	京都塩干魚卸(協)	41業者
			京都全魚類卸(協)	76業者
関連事業者	加工食料品卸販売業者	13業者		
			(漬物、鳥肉、鳥卵、乾物、つくだ煮等)	
	第一種関連事業者	37業者		
			(食料品販売業者(32)、運送業(5))	
	第二種関連事業者	48業者		
			(飲食・喫茶、金融、理容、包装資材、自動車修理等)	
その他	<u>京都市衛生環境研究所第一検査室</u> 、交番など			
買出人	小売業者、量販店(スーパー、百貨店など)、料理・飲食店 加工業者、学校・病院など大口消費者など 1日約3~4千人			

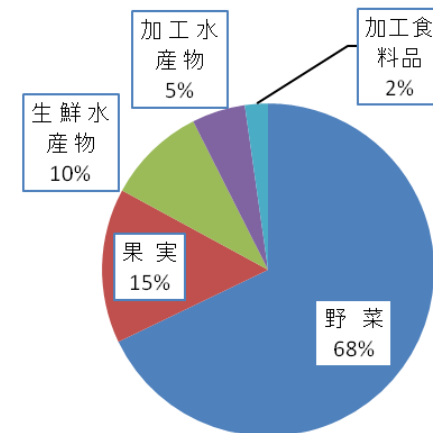
京都市中央卸売市場第一市場の動向

○平成24年(2012年)(1月～12月)の取扱高

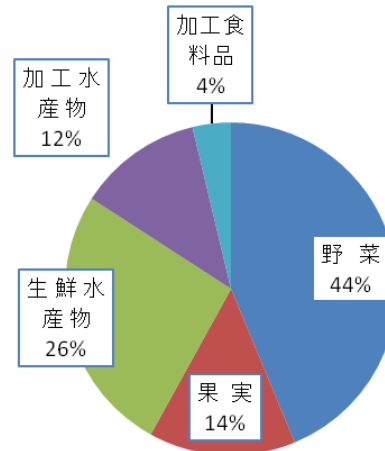
1日当たりの平均取扱高 1,141トン 387,495千円

平成24年市場取扱高（営業日数 273日）

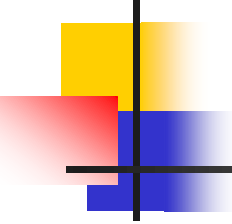
部 別	総 取 扱 高		1 日 平 均 取 扱 高		総取扱高前年比(%)	
	数量(kg)	金 額(円)	数量(kg)	金 額(円)	数量	金額
青果・水産物合計①	311,451,254	105,786,207,783	1,140,847	387,495,267	97.3	97.2
青 果 計	265,875,359	65,003,226,077	973,902	238,107,055	97.9	99.0
野 菜	218,099,888	49,201,932,458	798,901	180,226,859	98.1	99.5
果 実	47,775,471	15,801,293,619	175,002	57,880,196	97.0	97.7
水 産 物 計	45,575,895	40,782,981,706	166,945	149,388,211	93.8	94.4
生 鮮 水 産 物	30,180,606	27,636,926,429	110,552	101,234,163	95.6	93.7
鮮 魚	21,584,937	19,435,355,242	79,066	71,191,777	95.4	95.4
冷凍魚	5,844,035	5,072,438,318	21,407	18,580,360	94.4	89.7
貝 類	2,109,442	2,079,532,570	7,727	7,617,335	106.2	99.7
鯨 肉	6,816	11,867,841	25	43,472	151.7	93.3
淡水魚	635,376	1,037,732,458	2,327	3,801,218	82.5	75.6
加 工 水 産 物	15,395,289	13,146,055,277	56,393	48,154,049	90.4	95.8
塩干・加工品	15,040,044	12,986,987,877	55,092	47,571,384	90.5	95.7
海 草	355,245	159,067,400	1,301	582,664	85.8	99.8
加工食料品卸合計②	6,459,990	3,974,781,014	23,663	14,559,637	87.8	94.0
つけ物	3,561,077	1,392,131,969	13,044	5,099,385	97.7	97.5
鳥 肉	188,024	190,441,924	689	697,589	91.5	84.7
鳥 卵	753,740	127,547,898	2,761	467,208	45.4	37.7
乾 物	—	397,145,862	—	1,454,747	—	98.4
つくだ煮	1,957,149	1,867,513,361	7,169	6,840,708	105.8	101.8
総 数 ①+②	317,911,244	109,760,988,797	1,164,510	402,054,904	97.0	97.1



取扱数量



取扱金額



卸売市場の役割は

市民の日々の食生活に欠かすことのできない生鮮食料品(野菜・果実、生鮮水産物、加工水産物)等を、国内・海外から集荷して迅速かつ確実に適正な価格付け、分荷し小売店を通じ市民の台所に送る役割を担っている。

生鮮食料品の特徴

- ①生産地が全国・海外に分散し、その多くは消費地から遠い。
- ②腐敗しやすく、貯蔵に向かないものが多い。
- ③天候、生産、出荷状況等によって価格が変動しやすい。
- ④多品目、多品質で規格化が難しいものが多い。
- ⑤消費者の好みが多様で、購入単位も小さい。

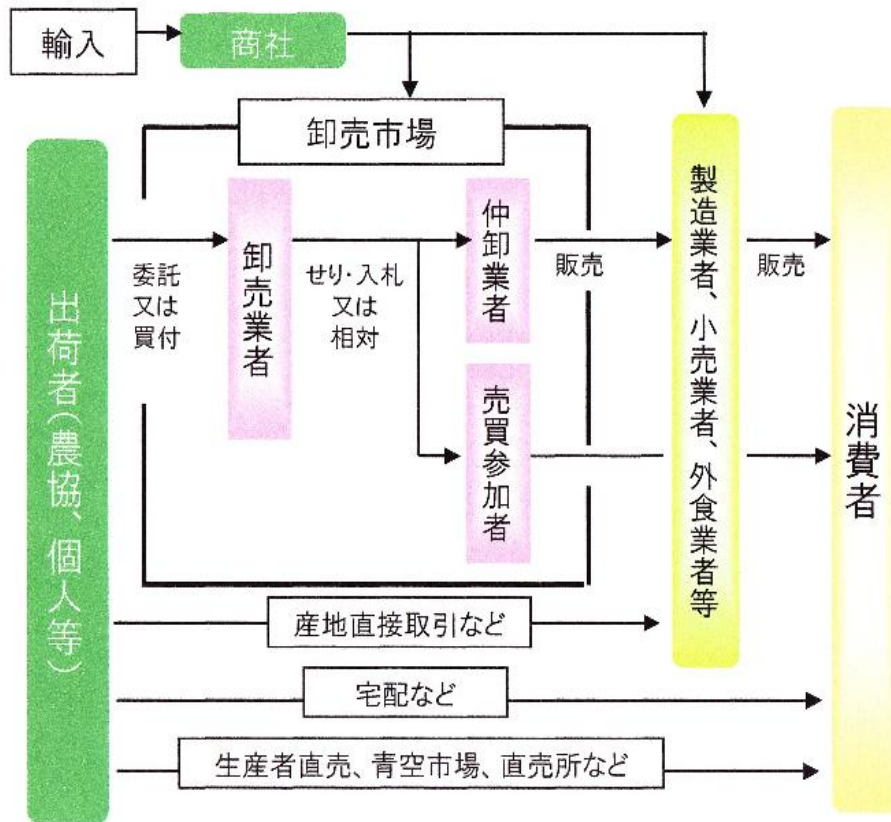
卸売市場の種類

事項	中央卸売場	地方卸売市場	備考
開設者	○農林水産大臣の認可制 (開設主体は都道府県・人口20万人以上の市等に限定) 卸売市場法第2条第3項	○都道府県知事の許可制 (開設主体は限定していない (公設・3セク・民営))	70市場 (43都市) うち青果 56市場
卸売業者	○農林水産大臣の許可制	○都道府県知事の許可制	193業者 うち青果 82業者
仲卸業者	○開設者の許可制	* 必要に応じて 都道府県知事が規定 (京都府の場合) 買受人は開設者の承認制	4,009業者 うち青果 1,522業者
売買 参加者	○開設者の承認制		30,027業者 うち青果 14,016業者

備考欄は、中央卸売市場の市場数等で、市場数は25年4月、卸・仲卸・売買業者数は23年度末の数。

生鮮食料品の主な流通経路と 卸売市場の主な機能

■生鮮品の主な流通経路



■市場の主要機能

①品揃え、集分荷機能

各地(国内外)から多種多様な品目の豊富な品揃え、実需者のニーズに応じて、迅速かつ効率的に必要な品目、量へと確実な分荷

②価格形成機能

需給を反映した迅速かつ公正な評価による透明性の高い価格形成

③代金決済機能

販売代金の出荷者への迅速・確実な決済

④情報受発信機能

需給に係る情報を収集し、川上・川下にそれぞれ伝達

⑤その他

災害時における生鮮食料品の供給基地としての機能

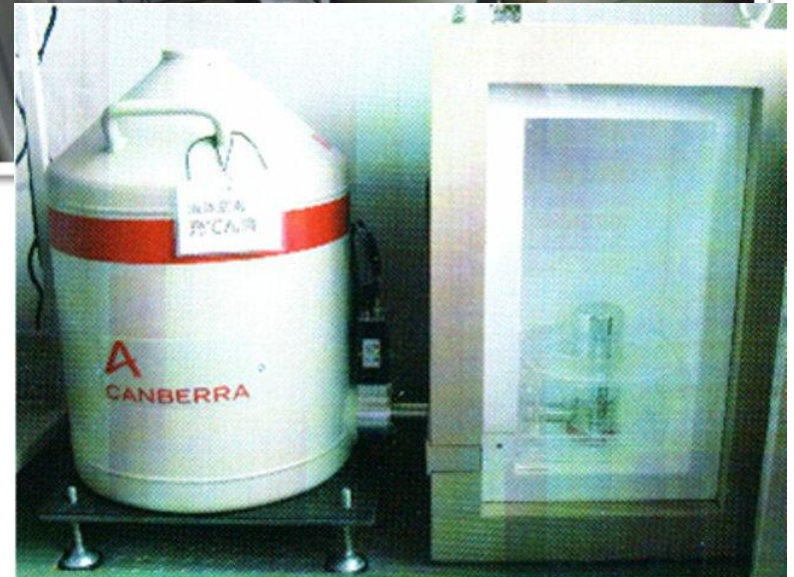
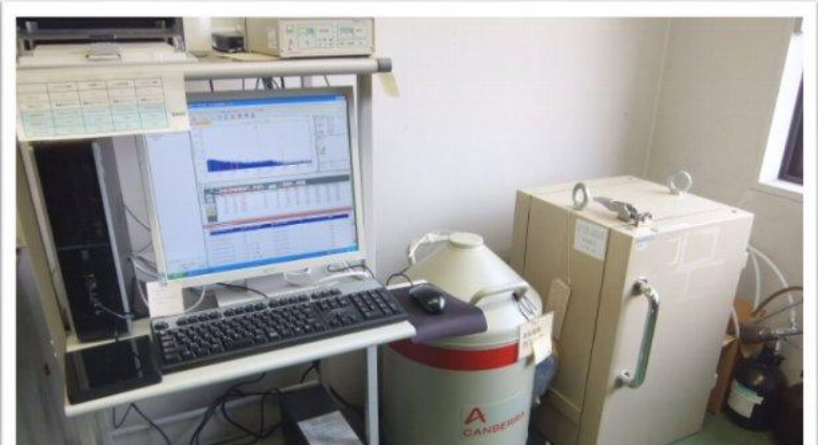
京都市中央卸売市場における食品中の放射能検査の実施

市場内には、京都市衛生検査所第一検査室があり職員が常駐し食品を抜き取り、放射能検査を実施し、検査結果は全て市ホームページで公表



ゲルマニウム半導体検出器のしくみ

- 1 ゲルマニウム半導体検出器は、いろいろな物質から放射されるガンマ線という放射線を測定する装置です。
- 2 ガンマ線のエネルギーは、放出する核種により、決まっているので、エネルギーを解析すれば、放射能を知ることが出来ます。
- 3 例えば、セシウム-137という核種があると、662keV(キロエレクトロンボルト)のエネルギーのガンマ線が放出されます。
- 4 試料は、そのまま又は細かく切り、専用の容器(マリネリ容器又はU-8容器)に入れ測定します。



京都市中央卸売市場での取組紹介

① 市場開設85周年記念市場まつりでの福島県特産品産コーナー



24年11月23日

京都市中央卸売市場での取組紹介

②市場開放デー「食彩市」被災地応援即売コーナー

食彩市は、毎月第二土曜日に開催

京都市中央卸売市場第一市場 市民感謝デー
きょう ず ざ く い ち ば

京朱雀市場 食彩市

平成23年 **4月2日(土)** 場所 京都市中央卸売市場第一市場内
「水産仲卸店舗(鮮魚・塩干)、総合食品店舗、調味店舗」
※青果仲卸店舗では開催しておりません。

平成23年 **5月7日(土)** 内容 鮮魚、塩干物、水産加工品、乾物、
漬物、佃煮、肉類、卵、練り製品、陶器、
調理器具等の販売、飲食店でのお食事等
その他、マグロの解体、販売等
イベントがいっぱい! **入場無料**

平成23年 **6月4日(土)**
午前10時～正午(雨天決行)
※一部の関連店舗は午後1時まで
(7月以降も原則毎月第1土曜日に開催)



23年5月7日

京都市中央卸売市場での取組紹介

③ 市場開放デー「食彩市」被災地応援即売コーナー



26年2月8日

京都市中央卸売市場での取組紹介

④ 作って、食べて応援！ 福島県の野菜で料理教室

福島県産のきゅうり、ピーマン、チェリートマト、いんげん豆を使用した料理教室を「京の食文化ミュージアムあじわい館」(京都青果センター3階)開催



25年7月1日

主催: JA全農福島

共催: 京都市中央卸売市場第一市場
京都青果合同(株)

京都市中央卸売市場における 地域別の入荷動向(野菜)

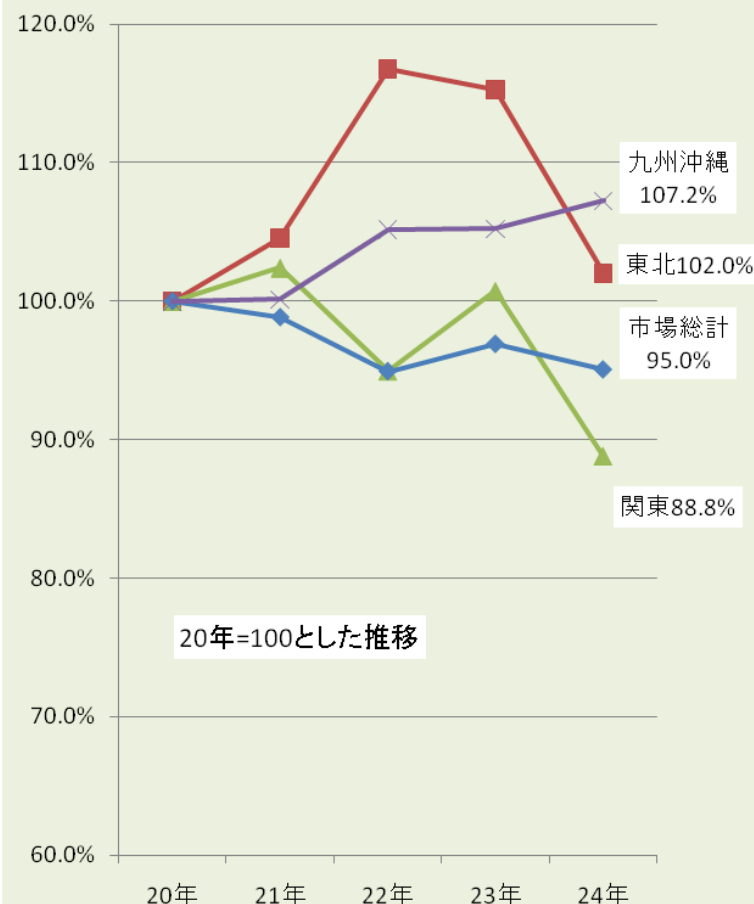
区分	20年	21年	22年	23年	24年
数量(t)	229,484	226,830	217,811	222,360	218,100
総平均単価(円/kg)	217	214	236	222	226

京都市中央卸売市場の地域別取扱数量の推移

	シェア(%)				
地域区分	20年	21年	22年	23年	24年
北海道	19.2%	18.9%	17.4%	17.0%	18.8%
東北	2.7%	2.8%	3.3%	3.2%	2.9%
関東	20.0%	20.8%	20.0%	20.8%	18.7%
北陸・東海	7.2%	7.0%	6.6%	7.3%	7.4%
近畿	18.2%	17.4%	17.4%	16.9%	16.2%
中国・四国	11.7%	11.7%	11.4%	11.2%	11.3%
九州・沖縄	19.3%	19.6%	21.4%	21.0%	21.8%
海外	1.7%	1.8%	2.5%	2.6%	2.8%
市場総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

20年=100%

地域区分	20年	21年	22年	23年	24年
北海道	100.0%	97.1%	85.9%	85.8%	93.2%
東北	100.0%	104.5%	116.7%	115.3%	102.0%
関東	100.0%	102.4%	94.9%	100.7%	88.8%
北陸・東海	100.0%	97.0%	87.5%	98.7%	98.8%
近畿	100.0%	94.6%	90.6%	89.8%	84.7%
中国・四国	100.0%	98.4%	92.3%	92.5%	91.5%
九州・沖縄	100.0%	100.1%	105.2%	105.2%	107.2%
海外	100.0%	108.8%	142.7%	152.6%	161.1%
市場総計	100.0%	98.8%	94.9%	96.9%	95.0%



京都市中央卸売市場における 地域別の入荷動向(果実)

区分	20年	21年	22年	23年	24年
数量(t)	60,070	58,292	51,848	49,259	47,775
総平均単価(円/kg)	302	284	316	328	331

京都市中央卸売市場の地域別取扱数量の推移

	シェア(%)				
地域区分	20年	21年	22年	23年	24年
北海道・東北	16.8%	16.8%	16.9%	16.4%	13.6%
関東	9.7%	9.1%	9.2%	9.0%	9.8%
北陸・東海	3.5%	3.1%	3.1%	3.6%	3.6%
近畿	20.6%	20.2%	19.4%	19.1%	20.4%
中国・四国	10.1%	9.5%	9.1%	9.0%	9.4%
九州・沖縄	13.3%	13.1%	13.1%	13.8%	12.6%
海外	26.0%	28.1%	29.1%	29.1%	30.5%
市場総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	20年=100%				
地域区分	20年	21年	22年	23年	24年
北海道・東北	100.0%	97.4%	87.1%	80.0%	64.5%
関東	100.0%	90.9%	81.7%	76.7%	80.5%
北陸・東海	100.0%	86.0%	76.7%	84.1%	82.1%
近畿	100.0%	95.1%	81.5%	75.9%	79.0%
中国・四国	100.0%	91.8%	78.2%	73.2%	73.8%
九州・沖縄	100.0%	95.5%	84.7%	84.9%	75.3%
海外	100.0%	104.9%	96.6%	91.7%	93.3%
市場総計	100.0%	97.0%	86.3%	82.0%	79.5%

